



魚沼支部支部長の猪又です。

私は、昨シーズンから魚沼市の須原スキー学校でインストラクターのボランティアを
始めました。きっかけは、かんばんの不適正営業による営業停止とコロナウイルスの感染
拡大によって組合の会議や集会が中止になったことです。

私が 20 代の頃はスキーブームがピークの時でした。スキー場はどこも混雑していて
休日のリフト待ちは 20 分以上になることがざらにありました。あのころ成り行きで取った
準指導員の資格。使うことも無く「来年はもう継続しないと何度も言いながら継続して
きた資格。今までにないことが重なって自分の時間をどう使うのか考えた結果が、スキー
学校のインストラクターをやってみることでした。初めて小学生や中学生を担当してみ
て子供たちの気持ちがいかにストレートに出ていることや、その気持ちの上がり下がりが早くて大
まいにとにと戸惑いました。何回かクラスを持って生徒を教えたり、プライズ検定で合
格を目指して滑るスキーヤーを身近で見たりできて楽しみなあとと思いました。

今シーズンも時間を作ってインストラクターをやってみようと考えていますし、ちょっと先
には 20 代の頃にあこがれていたニュージーランドのヘリスキーに行けたらいいなあと思
っています。